おおてみち

第136号

令和８年（2026年）７月１日
滋賀県立安土城考古博物館



八幡山城出丸（写真提供・撮影：岡寺良）

第72回企画展

秀吉の城



水口岡山城跡出土　揚羽蝶文鬼瓦（甲賀市教育委員会蔵）



坂田郡長浜新田絵図（長浜城歴史博物館蔵）



八幡山城　本丸

令和8年
7月18日（土）－9月23日（水・祝）

開館時間　午前9時～午後5時　※入館は午後4時30分まで
休 館 日　月曜日　※ただし、月曜日が祝日の場合は翌日
入 館 料　大人660円（530円）／大学生400円（330円）
※小中高生・障がい者および県内在住の65歳以上の方は無料です。
※（　）は20人以上の団体料金です。
主催　滋賀県立安土城考古博物館

近江風土記の丘
滋賀県立 安土城考古博物館
Shiga Prefectural Azuchi Castle Archaeological Museum

第72回企画展
「秀吉の城」

会期：令和8年7月18日(土)～9月23日(水・祝)
会場：企画展示室

豊臣（木下・羽柴）秀吉は、織田信長に敵対する浅井長政が籠城する小谷城の攻略に功績を上げたことで、信長から小谷城と浅井氏の旧領を拝領し、初めて近江で城主となり、翌年には琵琶湖岸の今浜（現在の長浜市）に長浜城を築き居城とし、城下町を建設します。

信長が本能寺の変で明智光秀に討たれると、秀吉は、織田家の家督争いを勝ち抜いて、織田家との主従を逆転させるだけでなく、天下人の地位にまで上り詰め、居城を京都と大阪に移しますが、その後も近江を重要視しています。

近江には、秀吉が居城とした小谷城と長浜城の他にも、自らの後継を期待する秀次のために八幡山城を築かせ、その支城として水口岡山城を築かせています。また、光秀が居城としていた坂本城も、改修して近江滞在時の御座所として頻繁に利用しています。そして、坂本城に替わる城として大津城を築かせ、陸上交通の要衝に位置する佐和山城や大溝城には、信頼する家臣を配置しています。

本展では、秀吉が近江に築いた城、築かせた城、利用した城を取り上げ、発掘調査で出土した資料と写真パネルでその特徴を紹介します。

展示資料出土遺跡
小谷城跡　長浜城遺跡　長浜町遺跡　佐和山城跡
安土城跡　八幡山城遺跡　水口岡山城跡　大津城遺跡
坂本城跡　大溝城遺跡


八幡山城遺跡伝秀次館跡出土
金箔軒丸瓦・軒平瓦（近江八幡市蔵）


大津城遺跡出土　金箔桐文軒丸瓦
（大津市埋蔵文化財調査センター蔵）


佐和山城跡出土　桐紋帯金具（滋賀県蔵）

〈企画展関連講座〉

①8月22日（土）　13時30分～15時
「京極高次と大津」
講師　五十嵐正也氏（大津市歴史博物館）

②9月5日(土)　13時30分～15時
「秀吉・秀長兄弟と長浜」
講師　福井智英氏（長浜城歴史博物館）

参加費　500円(資料代)※各回当日支払い
会場　当館2階セミナールーム
定員　120名（先着順）

〈企画展関連行事〉

「大河ドラマ「豊臣兄弟！」全身パネル展」
主催　NHK大津放送局
会期　9月2日(水)～23日(水・祝)
会場　当館エントランスホール

〈岐阜関ケ原古戦場記念館・滋賀県立安土城考古博物館連携講演会〉

9月13日(日)　13時30分～15時
「竹中重治(半兵衛)・重門と秀吉」
講師　山形隆司氏（岐阜関ケ原古戦場記念館）

参加費　無料
会場　当館2階セミナールーム
定員　120名（先着順）


佐和山城跡出土　犬型土製品
（滋賀県蔵）


小谷城跡出土　笏谷石製茶臼
（長浜市蔵）

資料紹介

羽柴秀吉書状写（当館蔵）



羽柴秀吉書状写 部分（当館蔵）

今回は、大河ドラマでますます注目の集まる羽柴（豊臣）秀吉にまつわる資料をご紹介します。羽柴秀吉書状写は、秀吉が天正十年（一五八二）十月十八日に、織田信長の子・信孝の家臣に送った書状の控えです。原本は伝わらず、同じ内容の写しが各所に残っています。書かれた日付は「本能寺の変」から約四か月後、秀吉が大徳寺（京都）で信長の葬儀を盛大に執り行った直後です。

本能寺の変が起きたのは、同年六月二日。同時代の公家や寺社の日記によれば、信長が急襲されたのは、まだ暗いうちから早朝にかけての時間帯だったようです。当時、秀吉は備中高松城（岡山市）で毛利氏と争っていましたが、信長の死を知ると即座に講和し、「中国大返し」と呼ばれる約二三〇kmの強行軍を経て、十三日には山崎（京都府乙訓郡）で明智光秀を討ちます。本書状にも「二日ニ於京都上様御腹被為召候由、同四日ニ注進」「六日迄致逗留」「同七日ニ廿七里之所一日一夜ニ播州姫路へ打入」「十三日之晩に山崎に陣取」と見え、四日に信長自刃を知った秀吉が七日に出発、拠点の姫路城を経て山崎に到着し、光秀を討った次第が記されます。書状にはこうした功績が実に細かく、三・八mを超える紙幅に延々と述べられます。目的は、柴田勝家ら政敵への牽制と、織田家への忠誠をアピールすることにあったと考えられます。一昨年には、兵庫県立歴史博物館と東京大学史料編纂所から、秀吉らの書状写し三十五通の発見が発表されて話題になりましたが、なかには、秀吉が信長の在世中、中国攻めの戦果を自賛した大量の報告を信長の側近たちに送りつけていたことの分かる史料も含まれていました。秀吉の巧みな自己演出の能力が垣間見えます。

一方、本年三月には、こうした「織田家の功臣」のイメージを覆すような書状が見つかったことが中京大学（愛知）から発表され、注目を集めています。秀吉が山崎に到着したはずの六月十三日付の書状で、富田（大阪府高槻市）にいる秀吉が、翌日に光秀の拠点・勝龍寺城（京都府長岡京市）のある西岡へ出撃すると告げる内容です。山崎の開戦は同日の午後四時頃で、光秀はその日のうちに敗死したはずです。秀吉は主君の仇討ちに間に合わず、遅参したのではないか？そんな新説も浮上しています。

私たちの知る秀吉は史実なのか、それとも秀吉や彼の功績を伝えた人々の演出なのでしょうか？ドラマも研究動向も、まだまだ目が離せません。

（瓜生翠）

復元・体感アプリの新機能

令和7年10月に公開開始した復元・体感アプリ「安土城」に、この4月から新しい機能が追加されました。

ひとつは、天主台で見られる天主最上階のCGに信長が出現することです。安土城築城の目的を自ら語っています。もうひとつは、大手前広場に現れる武将CGに新たに豊臣秀長が追加されたことです。秀吉とともに、「豊臣兄弟」として登場します。もちろん、他の武将CGと同様、一緒に記念撮影ができます。

百聞は一見に如かず。ぜひアプリをダウンロードして、現地でお確かめください。なお、データ容量が大きい（約2GB弱）ので、事前にWi-Fi環境でのダウンロードをお勧めします。

（滋賀県文化財保護課）



語る信長



秀吉と秀長



豊臣兄弟ピン

AppStore

GooglePlay

博物館の主な催し

第72回企画展「秀吉の城」 7月18日(土)～9月23日(水・祝)

特別陳列Ⅱ ～7月17日(金)

特別陳列Ⅲ「古墳時代の「よろい」と「かぶと」」 7月18日(土)～9月23日(水・祝)

特別陳列Ⅳ 9月25日(金)～10月7日(水)

7月

6日(月) 休館日
13日(月) 休館日
18日(土)～ 特別陳列Ⅲ「古墳時代の「よろい」と「かぶと」」 ～9月23日(水・祝)
21日(火) 休館日
27日(月) 休館日

8月

3日(月) 休館日
9日(日) 親子体験博物館「勾玉を作ろう」〈要予約〉
10日(月) 休館日
17日(月) 休館日
22日(土) 企画展関連講座①「京極高次と大津」
講師…五十嵐正也氏(大津市歴史博物館)
24日(月) 休館日
31日(月) 休館日

9月

2日(水)～ 「大河ドラマ「豊臣兄弟!」全身パネル展」 ～9月23日(水・祝)
5日(土) 企画展関連講座②「秀吉・秀長兄弟と長浜」
講師…福井智英氏(長浜城歴史博物館)
7日(月) 休館日
13日(日) 岐阜関ケ原古戦場記念館・滋賀県立安土城考古博物館連携講演会
「竹中重治(半兵衛)・重門と秀吉」
講師…山形隆司氏(岐阜関ケ原古戦場記念館)
14日(月) 休館日
24日(木) 休館日
25日(金)～ 特別陳列Ⅳ「豊臣の城2 八幡山城」 ～10月7日(水)
28日(月) 休館日

特別陳列Ⅲ
「古墳時代の「よろい」と「かぶと」」

会期：7月18日(土)～9月23日(水・祝)
会場：望楼ホール

戦国時代の武将がまとった甲(よろい)と冑(かぶと)の原型は、始めは中国や朝鮮半島から輸入されていましたが、古墳時代中期に国産化されて量産化されます。
新開1号墳出土の甲冑、黒田長山4号墳出土の甲を紹介します。



新開1号墳出土　眉庇付冑（当館蔵）

特別陳列Ⅳ
「豊臣の城2 八幡山城」

会期：9月25日(金)～10月7日(水)
会場：望楼ホール

秀吉が近江国支配の要として甥の秀次の居城として築かせたのが八幡山城です。
伝秀次館跡の発掘調査で出土した、安土城の金箔瓦とは技法が異なる金箔瓦などを紹介します。



八幡山城遺跡伝秀次館跡出土　金箔飾り瓦
（近江八幡市蔵）

※チケットの事前購入・シアターの予約は、こちらのQRコードをご利用ください。→
※事情により行事内容や日時・講師が変更になることがあります。最新の情報は当館ホームページでご確認下さい。
※滋賀県立安土城考古博物館は公益財団法人滋賀県文化財保護協会が指定管理をしています。

おおてみち　第136号
令和8年(2026年) 7月1日発行

編集・発行　滋賀県立安土城考古博物館
〒521-1311　滋賀県近江八幡市安土町下豊浦6678　TEL0748-46-2424
E-mail：gakugei@azuchi-museum.or.jp　URL：https://www.azuchi-museum.or.jp